

部局名	総務企画部	所属名	広報広聴課	所属長名	小名木 伸雄	電話	483-1151 内線2510
-----	-------	-----	-------	------	--------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	4014	事務事業名称	市長への手紙事業				短縮コード	経常	4014	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	03	広報費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	●施策体系欄に書ききれなかったもの(細項目) 0601010202 参加の機会と方法の拡充 0601010203 市民ニーズの把握								
事業概要(事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
市長への手紙制度は平成9年7月、誰もが気軽に市政に参加(発言)することができる制度として発足。市の意思形成過程に市民の声を反映させるとともに市民の権利、利益の擁護を図る制度として定着した。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱(章)	06	計画推進のために					
市民の地域社会への帰属意識の希薄化や権利意識の強まりにより、市政への苦情や個人的な要望は益々増加するものと思われる					大項目(節)	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進					
					中項目	01	パートナーシップによるまちづくりの推進					
					小項目(施策)	02	市民参加体制の充実					
					細項目	03	市民ニーズの的確な把握と市政への反映					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	「市長への手紙」制度を利用する市民						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成18年度に実際に行ったこと: 市政に対する苦情、要望及び提言等を、所定の葉書、封書、ファクシミリ又はeメールにより、市民の声として市長に寄せられたものに対応した。 ※平成19年度に計画していること: 現状のとおり						
意図 (何を狙っているのか)	市政に対する意見、要望、疑問、苦情等を手紙、eメール、ファクシミリで直接市長に伝え、迅速な対処と文書回答を得ることができる						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	入力対象外						
区分	指標	内容	単位	17年度	18年度		19年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市政運営に意見、要望、疑問、苦情を持つ市民	人	620	600	593	600
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	「市長への手紙」回答件数	件	234	230	292	300
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	市に寄せられた意見、要望、苦情等に対し適切に処理を行った割合	%	100	100	100	100
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1	各種審議会等における公募による市民委員の割合	%			0	
	指標2						
	指標3						

コード	4014	事務事業名称	市長への手紙事業		所属名	広報広聴課	
	単位	17年度		18年度		19年度	
		実績	計画	実績	計画		
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円	96	100	88	99
	その他	千円					
主な事業費の内訳		印刷製本費, ファクシミリ借り上げ		印刷製本費, 使用料及び賃借料		専用封筒・はがき印刷33,600円、ファクス借り上げ50,400円事務用品3,570円	印刷製本費、使用料及び賃借料
人件費(B)		千円	10,979.2	10,961.5	13,583.2	13,583.2	
トータルコスト(A)+(B)		千円	11,075.2	11,061.5	13,671.2	13,682.2	

3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	市民が意見や要望などで市政に参加することにより目標に結びついている			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	市民参加及び行政の説明責任という観点から常に必要。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	市政運営に関する説明責任の遂行は、市自らが責任を持って果たすべき性質のものであるし、民営化した場合、回答作成依頼等、庁内の連絡調整が困難と思われる。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	市民の行政参加と行政の説明責任が目的であるため、現状のままでよい。			
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある	現在の体制で、市民からの要望や意見等十分に把握できているため、コスト面でも現状維持でよい。			
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等業務プロセスの見直し				
<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	2		実施主体(所管部署)			
<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し						
<input type="checkbox"/> 上記以外の方法						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある					
	<input type="checkbox"/> ない					

コード	4014	事務事業名称	市長への手紙事業			所属名	広報広聴課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			開かれた市政運営を継続するため																					
			<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続																								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>						経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	経費は変わらないが、市民の意見や要望を市政に反映させることにより、満足度の向上につながる。
		経 費																									
		削 減	不 変	増 加																							
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
市長への手紙に対して、「内容のほとんどが現状報告で誠意ある回答ではない。事前に解決策を検討したうえで返答すべきである」、「理論ばかりで何の対策もできていない。市民の意見を反映させることが責務」との意見があった。	

所属長コメント	「市長への手紙」は、市政に対する意見、要望、苦情など市民の声として、年間に約600件寄せられている。一部に特定の人（常連）からの投稿も入っているが、多くは普通の市民からの声である。市政への市民参加を広げ、回答を通じて行政の説明責任を果たしていくことは重要であると思う。	
評価調整委員会意見	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。